【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】令和5年2月17日(2023.2.17)

【国際公開番号】WO2021/246059
【出願番号】特願2022-528468(P2022-528468)
【国際特許分類】
Ｄ０３Ｄ 15/47(2021.01)
Ｄ０３Ｄ 15/20(2021.01)
Ｄ０３Ｄ 15/283(2021.01)
Ｄ０４Ｂ 1/14(2006.01)
Ｄ０４Ｂ 21/00(2006.01)
Ｄ０１Ｆ 6/38(2006.01)
Ｄ０１Ｆ 6/54(2006.01)
Ａ４１Ｄ 13/005(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０３Ｄ 15/47
Ｄ０３Ｄ 15/20 １００
Ｄ０３Ｄ 15/283
Ｄ０４Ｂ 1/14
Ｄ０４Ｂ 21/00 Ｂ
Ｄ０１Ｆ 6/38
Ｄ０１Ｆ 6/54 Ａ
Ａ４１Ｄ 13/005１０１

【手続補正書】
【提出日】令和4年9月16日(2022.9.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
アクリル系繊維Ａ、及び獣毛繊維を含み、
前記アクリル系繊維Ａは、アクリロニトリルを４０重量％以上７０重量％以下含むアクリル系重合体で構成されており、
前記アクリル系繊維Ａは、繊維の内部に赤外線吸収剤をアクリル系繊維全重量に対して１重量％以上３０重量％以下含み、
ＪＩＳ Ｌ １９５１：２０１９に準じて測定した遮熱率が４０％未満であることを特徴とする、発熱性布。
【請求項２】
赤外線吸収剤を発熱性布全重量に対して０．５重量％以上２０重量％以下含む、請求項１に記載の発熱性布。
【請求項３】
前記アクリル系繊維Ａは、繊維の内部にさらにアンチモン化合物を含む、請求項１又は２に記載の発熱性布。
【請求項４】
前記獣毛繊維は、ウールである、請求項１～３のいずれか１項に記載の発熱性布。
【請求項５】

発熱性布全重量に対してアクリル系繊維Ａを３０重量％以上７０重量％以下、及び獣毛繊維を３０重量％以上７０重量％以下含む、請求項１～４のいずれか１項に記載の発熱性布。

【請求項６】

第１の糸、及び第１の糸と繊維組成が異なる第２の糸を含み、

第１の糸は前記アクリル系繊維Ａを含み、第２の糸は前記獣毛繊維を含む、請求項１～５のいずれか１項に記載の発熱性布。

【請求項７】

赤外線吸収剤が、酸化スズ系化合物である、請求項１～６のいずれか１項に記載の発熱性布。

【請求項８】

前記アクリル系繊維Ａは、アクリル系繊維Ａの全重量に対してアンチモン化合物を２重量％以上３０重量％以下含む、請求項３に記載の発熱性布。

【請求項９】

前記アンチモン化合物は、三酸化アンチモン、四酸化アンチモン及び五酸化アンチモンからなる群から選ばれる１以上の化合物を含む、請求項３又は８に記載の発熱性布。

【請求項１０】

目付が１００ｇ／ｍ^{2}以上３５０ｇ／ｍ^{2}以下である、請求項１～９のいずれかに記載の発熱性布。

【請求項１１】

請求項１～１０のいずれかに記載の発熱性布を含むことを特徴とする、繊維製品。